

大谷小中学校だより

NO.14
令和3年3月24日
珠洲市立大谷小中学校

次へ

おかげさまで、令和2年度の修了式を、本日無事に行うことができました。100年に1度のパンデミックの年と言われる中での日々でしたが、全員無事に過ごすことができましたことに感謝したいと思います。新しい生活様式に対応するための各ご家庭でのご配慮・ご協力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、4月の始業式では、次のことをお話ししました。

「誰かのために動ける自分を育ててください。わくわくする楽しいことを企画し、取り組んでみましょう。キーワードは「楽しむ」。そして、やりきった自分に会ってください。そのために、人と協力することが大切ですが、意外に難しく、乗り越えなければならぬことがいくつかあります。

一つ目は、人の思いを聞くことです。人と何かをやる時には、思い通りにいかないことがたくさんあります。自分の思いを言うだけでなく、人の思いを聞くことが大切になります。より良いものを目指すとき、人の意見や見方を聞くことが欠かせないからです。そして、リーダーとなった人は、先生方と相談し、思い切って決断して、全体を動かしてみてください。リーダーが決断したことには、行動で応えてください。

二つ目は、人の考えを聞いた後には、必ず疑問や感想を伝えることです。なぜなら、人は思い切って何かを言ったとき、どう受け止められたのか不安になったり心配になったりするからです。必ず、自分の思ったこと・考えたことを伝えてあげてください。

どうだったでしょうか。体育祭や文化祭の行事で、ねらいを明確にして、新たな企画に挑戦してくれました。迷い、悩みながらも、やり遂げた時の感動と喜びを味わうことができたのではないのでしょうか。

集会や行事の振り返り場面では、挙手をして自分の考えを伝える姿が増えました。挙手発言には、次の5つの力が働く初任の頃の研修で学びました。

- ① 問いに対して自分で考える力
- ② どんなふうに話そうか、考えをまとめる力
- ③ 手を挙げようかと迷った上で、決断する力
- ④ 話しているとき、相手の様子をつかもうとする力
- ⑤ 話し終えた後、他の人が何を言うか聞こうとする力

もちろん、挙手せずとも、こういったことができているかもしれませんが、一回の挙手で5つの力が働いていることを考えると、日々の積み重ねや一瞬一瞬で表現することの積み重ねの大切さを感じずにはられません。

今年度の取組が、社会の中で自立し、生きていく力につながってくればと考えます。



1年から8年生のみなさん。卒業生がよきお手本を示してくれました。次は、みなさんが、誰かの良きお手本となるチャンスです。春の息吹の中で、自分の高みを描いてください。そして、自分の高みをめざし、自分を磨いていきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、これまで学校にお寄せいただきましたご支援・ご協力に感謝申し上げます。今後もよろしく願いいたします。追伸：卒業式の式辞を載せておきます。ご一読いただけましたら幸いです。

令和2年度 卒業式 式辞 校長 上田 辰美

穏やかな春の日差しの中で、波音が優しく響く季節となりました。本日、第四回卒業証書授与式を挙げるにあたり、高林産業振興課長様、濱教育委員様、学校評議員桜ヶ平様、PTA会長水上様、保護者の皆様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

ただ今、卒業証書を授与された七名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、西部小学校に入学し、平成二八年度に本校の五年生に編入し、本日を迎えられました。一つ上の上級生がいない中、二年間、最上級生として学校をリードしてくれました。

今年度の始業式では、わくわくする楽しいことを企画し、新しいことにチャレンジしてほしい、そして、やりきった自分に出会ってほしいと伝えました。皆さんは、見事にやりとげてくださいました。

空の青海の青背に運動会

今年度から取り入れた応援合戦では、団長を中心に、応援の音が青空に響きました。背をそらし、青空に向かって張り上げた声と、青海をバックに日焼けした笑顔が鮮やかでした。

太鼓打つ音が揃って文化祭

太鼓を打ち鳴らす姿、そろった掛け声は圧巻でした。幼い頃から親しんだことは、体の細胞一つ一つに染み込んでいることを感じずにはいられませんでした。まさに、この大谷で育った皆さんの姿でした。そんな皆さんの全校合唱の「ふるさと」は、心にしみました。

そして、横のつながりを大切にしたい新企画「ブース」は大盛況でした。九年生の写真たてづくりコーナーでは、たくさんの方が楽しんでくださいました。すばらしい企画でした。

秋の夜温泉浴衣の同級生

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、これまでのように活動できないことがたくさんありました。修学旅行においても、随分心配をさせてしまいました。しかし、皆さんは、正直に自分の思いを伝えた後は、不平不満を口にせず、できることを大切にして、珠洲のPR活動をやりとげてくださいました。七名で温泉を楽しんだと聞いて安堵しました。

いつもより名前大きく受検票

学習面においても、学ぶことを大切にされた皆さんでした。放課後、だんだん広場の階段で窮屈な姿勢で勉強していましたね。見るに見かねて、大テーブルを購入することを決めました。受験が迫る中、放課後のあの大きなテーブルで、先生方に質問したり、黙々と学習を進めたり、よくがんばりました。

日常の中、行事の中での皆さんの姿は、下級生たちのよきお手本となりました。本当にありがとう。

さて、これから皆さんには、たくさんの人との出会いと経験の場がまっています。

しかし、思い通りいかないことが必ずあります。「できない」よりは、「できる。どうやろう。」と考える人であってください。希望、目標、大切にすることをもち続けてください。

そして、どうか、感じのいい人でいてください。簡単です。周りの人を大切にしてください。いい言葉を探して、人と関わってください。そうすることで、その人を幸せにするだけでなく、皆さん自身が幸せになれるはずですよ。そして、この七名でこれまで過ごした日々は、かけがえのない財産です。頼りにし合ってください。

結びになりましたが、保護者の皆様、西部小学校時代からの九年間の長きに渡り、ご支援・ご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

立派に成長されたお子様の姿に、十五年間の子育てを振り返ったとき、感慨もひとしおのことと推察いたします。私たち、職員一同、本日七名の卒業生を、胸をはって送り出します。

春風や闘志抱きて丘に立つ

卒業生の皆さん、今日をスタートとし、あなたらしい、あなたの高みをめざして前進してください。これからもみなさんを応援し続けることを誓って、式辞といたします。

◆ 令和2年度 第4回卒業式 ～ 一人ひとりが輝いた卒業式 ～

3月12日（金）、第4回卒業証書授与式を挙行することができました。卒業生7名が、9年間の思い出を伝える姿は、大変凛々しく、そして立派でした。在校生は感謝の思いを言葉と歌で一人ひとり精一杯伝えてくれました。来賓の方から「うなずきながら聴くことができるお式でした。」とお言葉をかけていただき、ありがたく思いました。たくさんの方々に見守られ、7名は笑顔で巣立つことができました。これまで支え、見守っていただき本当にありがとうございました。



【児童の感想】

- ・ほんばんでとちゅうでなきそうになったりしたし、さびしいきもちになりました。(あやな)
- ・私は卒業式の日を送別の歌と送辞をしました。練習のときは、本当に私の言った言葉で卒業生の心にひびくか心配でした。だけで、本番では、声を出して上手く言えたので良かったです。歌でも後期の人たちとはもって、きれいな声で歌うことができました。そして、卒業生の答辞を聞きました。卒業生が送ってくれた言葉は、今の私にとっても当てはまっていて、「いいこというなあ」とちょっとうるっと来てしまいました。私は、6年生として、前期ブロックのリーダーとしてがんばりたいです。(めい)

【卒業式生徒の感想】

- ・今年の卒業生7名とは、時間があればワイワイと集まって、いろいろな話をする程、身近でかけがえのない7人でした。なので私は、在校生のみんなと力をあわせ、心に残る送辞と歌声を体育館に響かせました。菅原先生もおっしゃっていたように、卒業式本番の歌声は、ハモリがちゃんとしてすごく良かったです。正直、練習では、7・8年生の声の小ささを心配していました。しかし、本番は自分でも満足できる歌声と大きさを歌えました。本当にいい卒業式にできました。(はるか)

<卒業生の成長を願った卒業記念植樹>

卒業式の後、卒業の思い出と卒業生の成長を願って記念植樹を行いました。5年生から8年生も参加して、ハナミズキを植樹しました。また、17日の入試の合格を報告に来た卒業生が、卒業式に行った記念植樹にプレートをつけました。保護者の方々が作って下さったプレートには、7名の名前が刻まれています。紅白のハナミズキはまだ小さな苗木ですが、つぼみをつけています。大切に育てたいと思います。給食後の下級生達にも合格を報告し、祝福され、ほっとした様子の卒業生たちでした。



◆ 9年生を送る会 ～ 9年間の感謝を込めて ～

3月5日（金）、前期課程の児童と9年生が共に楽しみ、共に卒業を祝うことができたなら・・・という思いから、8年生が「9年生を送る会」を設定してくれました。よしのさんとりんたろうさんが会の進行役を務め、縦割り班で、謎解きとドッチビーを行いました。感謝タイムでは、9年生から感謝の気持ちを伝え、最後は花道で9年生を送りました。



【生徒の感想】

- ・9年生を送る会をして、私はとても楽しむことができました。ドッチビーをした時に1～9年生が協力し合って戦うことができ、とても楽しかったです。9年生が卒業する前の良い思い出になりました。来年からは、私たちが最上級生になるので、今回のような全校児童生徒で楽しめるイベントを企画していきたいです。印象に残る楽しい会でした。9年生の皆さん、本当にありがとうございました。(はるひ)
- ・私たちは送られる側の卒業式をしたことがありません。なので、今回のような会をはじめででした。率直な感想は、とても楽しかったです。いつもとは違う立場に立って、とても新鮮で気分が高揚しました。また、低学年のみんなとは、あまり交流がなかったので楽しさの中にうれしさもありました。今回の会を企画してくれたみなさん、ありがとうございました。みんなで協力して、大谷小中学校を盛り上げていってください。(ともや)

令和2年度 職員の異動

この度の定期人事異動により、下記となりました。「I・WE・ALL」を合い言葉に児童生徒とのつながりを大切にきてみなさんです。ありがとうございました。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ○池田 茂雅 教頭（退職 再任用として松波中へ） | ○北岡 真里 臨任事務（退任） |
| ○西 浩一 再任用教諭（退任） | ○菅原美津子 教諭（松波小学校へ） |
| ○時兼 章泰 講師（新規採用者として松波小へ） | ○中島 輝雄 校務士（若山小学校へ） |
| ○打越由美子 調理員（緑丘中学校へ） | ○佐小田香奈枝 支援員（正院小学校へ） |